

いきいきとした町づくりをめざして

# 議会だより かつうら

No.29

2004.10.30発行

発行 徳島県勝浦町議会  
編集 議会広報調査特別委員会

〒771-4395 徳島県勝浦郡勝浦町久国  
TEL (08854) 2 - 2511

災害復旧費など補正予算を可決 — 2

新議長決まる ————— 3

常任委員会の活動 ————— 4

合併協議に臨む重要項目 — 5

10議員町の考えをただす ——— 5

我が家は野球家族!! ————— 14



どっちにしようか

# 復旧費

# 200万円などを可決

## 9月定例会

### 補正予算

#### 一般会計

**2億6,149万3千円** (災害復旧費など)  
(予算総額34億9,195万4千円)

#### 国民健康保険特別会計

**1億5,114万9千円** (繰越金を予備費に)  
(予算総額8億7,946万8千円)

#### 介護保険特別会計

**533万6千円** (国庫返還金など)  
(予算総額6億1,475万4千円)

九月定例会は、九月十日から二十七日までの十八日間開かれ、十六年度補正予算、議員提案の意見書、町道路線の認定など十議案を審議し、全員一致で可決しました。一般質問では、十議員が小松島市との合併問題、台風の影響状況と復旧への取り組みなどを中心に町の考えをただしました。

### 議案に対する主な質疑

**問** 三百万円で前川のせせらぎ公園近くの消防車進入路の被災箇所を復旧することだが、県などの補助はあるのか。

**答** 総務課長 補助金はなく、全て町費で対応しなければならぬ。

**問** ゴミ収集用のパッカー車は特殊車輛であり、どのような方法での購入になるのか。

**答** また、将来を考え購入費を積立ててはどうか。

**問** 住民課長 仕様書を作成して、指名競争入札をしたい。積立金は、広域的なゴミ行政の取り組みもあり、十分検討したい。

**問** 井戸端塾がフジテック跡に設置を進めている人形文化交流館に、県からの払い下げを受けた人形浄瑠璃舞台を五百四十万円で移設することだが、今後このような予算を組んで行くのか。

**答** 産業振興課長 県から二百五十万円の補助もあつたので予算化した。特異なものであり、今後、こういうことはないと思う。

# 災害

# 約2億1,

## 議員提出議案

郵政分割民営化の中止を  
求める意見書

## 町道路線の認定

中角大藪西支線	80m
中角つく田線	26m
星谷ニッ森谷支線	1,182m
今山寺前線	115m



相次ぐ台風で被災した消防車進入路

## 第2回 臨時会

### 議長に 国清栄議員を選出



に提出されていた辞職を認め、新議長の選挙を行いました。  
その結果、国清栄議員八票、白票四票で国清議長が誕生しました。

十月二十五日に開かれ、災害復旧費千六百三十九万円の補正予算を可決。  
溝田議長から九月

## 平成15年度 一般会計決算の状況

歳入  
36億3,711万5,459円  
歳出  
33億6,782万5,257円  
差引残額  
2億6,929万202円  
(うち基金繰入額1億円)

決算の認定は  
総務産建常任委員会に付託しました。

中西晴美議員  
議員在職三十五年以上の自治功労で総務大臣から感謝状が贈呈されました。



### ◎固定資産評価審査委員会委員

山本 達夫氏(生名)  
の選任に同意しました。

### ◎教育委員会委員

坂田 淳一氏(星谷)  
朔 章一氏(与川内)  
の任命に同意しました。

### ◎人権擁護委員

中西 正氏(石原)  
滝花 恒子氏(柵野)  
の推薦に同意しました。

# 総務 産建

八月四日と、九月二日に委員会を開き、十六年度一般会計補正予算と、町道路線認定等について説明があり審議しました。

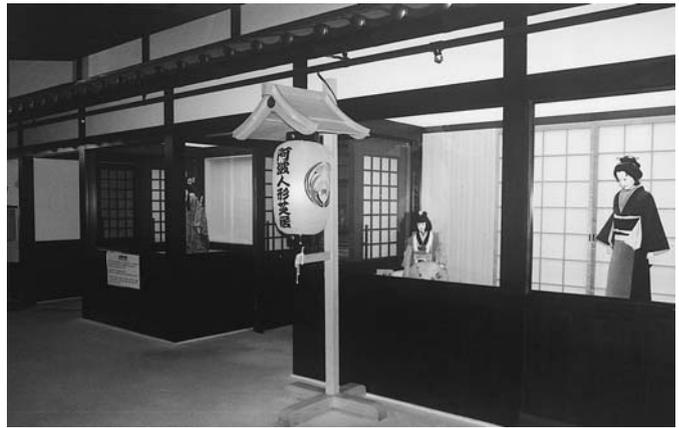
## 台風被害 総額で約一億一千二百万円

**問** 台風による公共土木施設の被害状況は。

**答** 豊岡建設課長補佐 道路は六号台風で七カ所、十号で六カ所、十五号で三カ所、河川は十号で四カ所、十五号で二カ所、橋梁は、十五号で一カ所、十六号台風は現在調査中である。台風十六号による農産物の被害状況は。

**答** 国清産業振興課長

温州みかん 四・七四haで二千五百八十八万円  
 スタチ 二十七・五aで三百五十三万円  
 ナス 六七の減収で二百六万円  
 オクラ 一千二百四十kgで六十四万二千元  
 水稲 五haで六十一万八千元  
 など合計三千五百万円程度になる。  
 その他ハウス施設で  
 全壊一棟十三a、半壊四棟五aなどである。



県から払い下げられた人形舞台

## 「人形会館」設置の 支援はなぜ

**問** 町長は人形会館建設はできないと答弁してきたが、今回、県から譲り受けて支出が少なくてすむと言うだけで、予算化したのか。

**答** 町長 県の「地域にぎわい創出補助金」により事業を行いたい。時代も刻々と変わっており、大きな流れの中で考えてほしい。

委員会として 九月議会に提案すること承りました。

## 常任委員会の活動報告

# 文教厚生

## ゴミ収集用 パッカー車を購入

七月二十九日と、八月三十一日に委員会を開き、勝寿会の収支計算書と特別養護老人ホームの増築工事計画の説明を受けました。  
 また、十六年度補正予算などの説明があり審議しました。

**滝花特養施設長から** 勝寿会の実質収益は三千三百万円余り、喜楽苑の増築は三億三千万円をかけ、特養二十人、シヨートステイ十二人分の増加になると説明がありました。

**問** 完成はいつか。

**答** 滝花施設長 十月一日着工予定で二年間の事業になる。

**問** 喜楽苑の待機者の人数は。

**答** 滝花施設長 三十人から五十人である。

**山平住民課長から** クリーンセンターの電気集じん機オーバーホール委託料の追加として、一千六百万円、ゴミ収集用パッカー車

購入費など六百四十八万六千円、浄化槽補助金二百七十万六千円の説明がありました。

**問** 浄化槽は、当初予算で十五基、補正で七基追加の、計二十二基であるが、今後の希望者はどうするのか。

**答** 山平住民課長 次年度にしたい。

**問** ゴミ処理費をもつと住民に負担してもらうことも考えたい。

**答** 町長 行政改革と合わせて意識改革をしよう必要がある。

**その他** 福祉課の百二十二万六千円、教育委員会の二十五万六千円の補正予算も審議し、九月議会に提案することを了承しました。



増床工事が始まった喜楽苑

## 防災無線

### 補修、整備を早く

来年度に事業を（総務課長）

国清 栄 議員



**問** 南海、東南海地震の発生が予測されるが、防災無線の難聴地域解消のため、本年度はコンサルタントによる実施計画をしているが、その進捗よく状況と今後の見通しは。

**答** 戸川総務課長 七月に実施計画を業者に委託、八月、JAに説明を行った。県には補助対応等についての協議もしているので、来年度に事業を実施したい。

### 救急患者輸送車 業務再開後の 問題は

出勤先の把握に  
手間取ったことも  
（総務課長）

**問** 七月二十六日に業務を再開し二九月



防災無線難聴地域を調査

近くになるが、状況と問題は。

**答** 戸川総務課長 七月は二回、八月は二十三回、九月は十六日現在で十六回出勤している。

出勤先の把握に手間取って関係者に迷惑をかけたことがあった。今後、このようなことがないよう絶えず訓練を実施していきたい。

### 台風被害 農作物に町の 積極姿勢を

支援策を検討  
（産業振興課長）

**問** 農業の町勝浦として、台風などによる施設や農作物などの被害に對して、町単独事業で直接の被害補償などできないものか。

**答** 国清産業振興課長 町単独事業は、特に新しい事業と土地の改良事業を中心に行っている。

予算も限られており、救済制度というのは難しい。災害から立ち直るための支援策については検討していきたい。

### 市町合併

### 次の住民説明会の 時期は

町づくり計画が策定されれば（町長）

**問** 次の住民説明会はいつ頃想定されているのか。

**答** 町長 合併後の勝浦病院、ケーブルテレビ、救急消防、及び農業振興など重要項目について対等の立場で協議して、新しい町づくり計画が策定された後になる。

## 合併協議に臨む

### 重要項目

- 1 基金の扱いについて
  - ・ 特定目的基金として勝浦町の地域振興基金として積み立てる
- 2 組織
  - ・ 住民サービスの低下にならないように事務組織、機構の総合支所
- 3 保健・医療・福祉
  - ・ 勝浦病院は市立病院として現在の規模により存続する
- 4 安全環境整備
  - ・ 消防常備化・救急体制の充実（支所の設置）
- 5 農林商工業振興施策の推進
- 6 道路交通基盤の整備
  - ・ 基本的には、新市の計画に乗せる
  - ・ 市バスの乗り入れと現在の路線バス便数分を堅持
- 7 生活環境基盤整備
  - ・ 広域によるゴミ処理
  - ・ 安全で安定した水の供給、簡易水道の整備
- 8 CATVの整備
  - ・ 行政情報網整備の充実

## 南海地震

### 耐震診断と補強は

原田昭三 議員

来年度より  
実施したい

(住民課長)



**問** 近い将来に起こるとされる南海地震への対応として、個人住宅の耐震診断はいつから行うのか。

**答** 山平住民課長 耐震診断の終了者に対しニーズ調査を行い、必要であれば来年度より実施したい。



耐震構造の住宅

### 市町合併 重要項目を はっきりせよ

**問** 住民説明会ではどのような意見が出されたか。

**答** 戸川総務課長 「なぜ編入合併なのか」「住民投票はするのか」など多くの貴重な意見が出された。

**問** 話す場所によって重要項目が変わっているが、はっきりすべきだ。

**答** 戸川総務課長 スライド等でも示しているが、議会とも相談し決定したい。

**問** 財政悪化は町長が無駄な事業に投資して来たからではないか。

**答** 町長 費用対効果等も考えながら、町の活性化のため必要な事業選択をしてきた。

### プラスチック類の リサイクルを

松田貴志 議員

来年度に検討

(町長)



**問** ピンクのゴミ袋に入れられるプラスチック類は、焼却炉の傷みを軽減するためにも焼却すべきでない。原料として需要もあり、分別収集計画の推進をはかるた



生ゴミ処理機に助成を

めりサイクルしてはどうか。

**答** 山平住民課長 プラスチック類はゴミ全体の二十六%を占めている。町内の団体から「協力してリサイクルに取り組んでは」との声もあるが、松茂にできる臨海処分場への埋め立て計画もあるので、慎重に取り組みたい。

**答** 町長 分別やりサイクルについて課長に指示してある。総合的に判断する中で、来年に向け取り上げていく。

**問** 電気式の生ゴミ処理機が病院と給食センターに導入されているので、多くの家庭で清潔に生ゴミが処理されるよう、購入者への助成をしてはどうか。

**答** 町長 財政の問題と併せて補助金等を活用できるように検討していきたい。

**問** 常備消防、ケーブルテレビ等合併しなくては対応できない問題が山積みである。重要項目の調整を早く終わらせ、法期限内に合併ができるよう一日でも早く協議会を設置しては。

**答** 町長 小松島市長との協議の中で、病院問題等に意見の相違がある。時間がないのは承知しているが、重要項目については十分に話し合い、住民のマイナスイメージにならないよう一生懸命取り組んでいく。

### 市町合併 早急に協議会の 立ち上げを

## ふれあいの里さかもと 合併後も継続を

### 協議会で積極的に訴えたい(助役)

森 敏治 議員



いる。地区の活性化、雇用の創出、農業振興などの経済効果が出ており、合併協議会の場でも積極的に訴えて行きたい。

## 上勝町営バス 乗り入れは反対

**問** 徳バスの上勝行きが廃止されるに伴い、上勝町から要望書が来ていると言うが、その内容は。

**答** 戸川総務課長 八月二十七日付で、自家用自動車の有償運送に伴う停留所の位置について、町道を使用する同意書の要請が来ている。

**問** 「ふれあいの里さかもと」が合併後どのようになっていくの不安である。引き続き構造物の維持補修など、補助対応について継続されるよう合併協議の中で十分協議してほしい。

**答** 助役 この施設は、小規模な修繕や改良については、原則として地元運営委員会が行い大規模な修繕は、町と運営委員会が契約に基づいて対応することになって



ふれあいの里さかもとでの体験学習



乗り入れが始まった上勝町のバス

## 中山間地域等 直接支払制度 今後の見通しは

**問** 議会でも「継続を求め意見書」を国に提出しているが、この制度は地域の活性化に大きな役割を果たしている。継続についての新しい情報と、今後の見通しは。

**答** 国清産業振興課長 農林水産省は、二〇〇五年度で総額三兆四千億円の概算要求を提出しているが、今までも財務省は、廃止を含む抜本的な見直しを建議された経緯もあり、引き続き国の動向を注視していきたい。

**問** 現在までの実績は、また、この制度が継続されなければ、後継者不足、耕作放棄地が増加するのではないかと。

**答** 国清産業振興課長 十六年度までに、二十六集落、協定参加者八百八十八人、面積は五百haの実施があり、成果はあがっていると思っております。また、協定参加者のほとんどが高齢化しており、今後、担い手の育成が最大の課題である。

## 不登校やいじめ の現状は

**問** 上勝からのバス乗り入れは、坂本地区にとつて徳島バスの撤退を早めるものであり、町は了解すべきではない。

**答** 町長 上勝町の意向については賛成出来ない。

**問** 小学校、中学校での不登校やいじめ、暴力行為についての現状は。

**答** 島教育委員会事務局 局長 不登校は中学校で一人、不登校ぎみの生徒が二人、小学校は

**問** いじめは、中学校で一件の報告がある。校内暴力は起こっていない。

**問** いじめなどは、なかなか表に出てこない。報告されている数よりもっと多いのではないかと。

**答** 教育長 以前は、学校で起きたことは学校内で解決するのが最も望ましいと考えられていたのではないかと。社会の急激な変化により、子供を取り巻く状況も複雑で多様化してきており、学校だけでは解決出来なくなってきた。学校、家庭、教育委員会等が連携を密にして対応していく必要があると思う。

## 小松島との合併より 自立を

重要項目は対等な立場を基本に（町長）

中西晴美 議員



**問** 合併説明会で上映したスライドは、十四年度の資料で現況に合っていない。町はここ数年血のにじむような努力で行政改革に取り組んだ結果、財政は好転した。現在、起債は五十二億八千万円で、交付税算入額三十一億円を差引きすると正味借金は二十二億円になる。私の試算では現在の基金は二十二億円であり、差引きすると借金はゼロである。基金の詳しい説明を。

**答** 町長 まだ十五年度の決算が出ていない段階での説明会であったので、十四年度決算のスライドを作成した。

地方交付税の減少は今までのような極端な減ではなく、十年間に三割ぐらいという予測もあるが、厳しい財政事情は続くと思われる。

**答** 戸川総務課長 普通会計で使える基金として十四億一千六百万円、その他に高額医療基金九十一万円、朝桐奨学資金百万円、中山間ふるさと水と土保全基金五百万円、国保財調一億円、

公共用施設維持基金二千四百九十五万円、特定農山村支援基金四百四十万、介護保険準備基金四百四十五万など総額十六億四千三百三十三万円である。

**問** 小松島市は、同和対策事業を柱とする膨大な財政支出に対する行政改革を怠ったため、急速に財政が悪化し職員

の退職引当金も無い。財政が極端に悪い証拠である。

**答** この際、小松島市との合併の話し合いは打ち切り、自立存続の道を進むべきだ。

**答** 町長 小松島市とでも一方的な合併でなく、重要項目は対等な立場での話し合いを基本に、十分聞き入れてもらうよう調整している。

**問** 将来は、上勝町との合併を推進すべきだ。

**答** 町長 上勝町の考えが分からない中で、答弁は差し控える。

### 町内産業の振興を

**問** 商業振興のため商品券を増額すべきだ。

**答** 町長 商品券は町民からも好評なので、百万円の増額も考えていきたいと思っている。



小松島との合併より自立を



みかん産業の振興を

**問** みかん産業の振興対策は。

**答** 国清産業振興課長 勝浦みかんのブランド化、高糖系への改植や十萬温州の交互結実栽培の指導、高品質化マルチ栽培の推進を図っている。

また、マーケティング対策として、手選別によるコンテナ出荷などを行っている。

**問** 立川のクリーンセンターは収集費と機械の修繕、立川町道の改修費など年間一億九千万円が必要だ。ゴミ処理

について町民は一袋二十五円で済むと思っているが、家庭でのゴミの減量化を推進すると共に、料金値上げもしなければ財政が持たないと思うが。

**答** 山平住民課長 減量化については、保健部長や減量化推進委員と努力をしている。値上げは慎重に検討したい。

### ゴミ処理料の 値上げを

## 台風 被害状況と対応は

被害額三億六千二百万円(関係課長)

森 健 議員



**問** 勝浦町に関係した台風の被害状況は、豊岡建設課長補佐 公共土木災害は河川十一カ所、町道二十三カ所、橋梁一カ所であり、農業施設では農道など十一カ所、林道施設で一カ所の計四十七カ所で、被害額は約二億五千万円になる。

**答** 国清産業振興課長 農産物では、露地みかんの枝折れを始め、スタチ、水稲、柿、オクラ、夏秋ナス等であり、ハウス関係は本体破損八

**問** 台風接近時や災害発生時、また、事後の対応は。

**答** 豊岡建設課長補佐 課員が待機し、災害通報箇所の確認と被害箇所の調査をその都度行い、安全確保と緊急を要する箇所については、応急に仮設工事を実施している。

**問** 災害箇所については災害査定に提案し、原形復旧でできるよう作業を進めている。

**答** 国清産業振興課長 普及所、JA、町が被害調査を実施して、営農指導班を中心に指導しているが、強風により予想外の被害となつているハウスについては、ほとんどの農家が手つかずの状態である。



強風で折れた電柱

**問** 台風により町の事業はどのような影響を受けたか。また、その対応は。

**答** 山平住民課長 クリーンセンターへのゴミ搬入道路が二カ所崩落し、一時収集を休止した。その後、上勝町の林道を使用し迂回していたが、今は、仮設橋梁で対応している。

**問** 防災関連の情報機器や施設、組織はどのように生かされたか。

**答** 戸川総務課長 県総合情報通信ネットワークシステムによる台風情報、河川情報センターからの水位情報、各消防団からの情報、住民からの情報提供を受けながら、地域防災計画により、課員配置、消防本団と各分団への指示をはじめ、各区の自主防災組織により災害の状況に応じて配備体制を整えた。

**問** 潜水橋、町道浸水箇所の一時通行止め、中角地区の避難勧告の準備等の対応を図った。

## 市町合併 編入合併の 説明は

**問** 新聞報道された「編入合併」について、地域説明会で、町民にどのように説明したのか。

**答** 戸川総務課長 法期限内合併を目指すとなると小松島市への編入しかない。編入であっても町の重要項目につ

**問** 最近、他の町で合併協議会離脱の報道があったが、このことについての感想と、合併を進める場合なにが大切な事と思うか。

**答** 町長 各自治体の内容の違いや表面に出していない問題もあるのではないかと思う。本音で話し合うことが大切と思う。



今山げき下流堤防の応急処置

## 市町合併

### 早く協議会の立ち上げを

設置に向け調整中 (町長)

大西一司 議員



**問** 町長は、六月議会で「九月には小松島市との合併協議会設置を目指す」と答弁している。住民説明会も終了したので、早く準備を進めべきだ。

**答** 町長 少し問題点もあり調整中だが、早く設置できるよう努力していきたい。

**問** 入口で議論するのでなく早く協議会を立ち上げ、その中で十分議論すべきだ。

**答** 町長 住民の幸せを願い、時間は少ないが水面下で一先懸命交渉している。

**二学期制 導入計画は**  
協議、検討している (教育長)

**問** 学校が週五日制になって二年半になるが、制度は定着しているのか。また、問題点はないか。

**答** 教育長 ゆとりのある中で、自然や社会体験等を通じて、子どもの健全育成にプラスになっていると思う。授業数も確保するように見直しをしている。また、学校運営は安定してきており問題はない。



生名バイパスの周辺整備を

**問** 二学期制の導入計画は。

**答** 現在、導入計画はないが、校長会、教育委員会で協議、検討している。

### 生名バイパスの周辺整備を

**問** 最近、生名バイパス周辺の開発が進んでいる。町のシンボル日本一のビッグひな祭が行われる人形文化交流館も来春オープン予定だ。この地域を勝浦町活性化の核として位置づけ、周辺整備を計画的に進めては。

**答** 町長 将来、町の活性化の源になると思う。総合的な問題として、担当課に事業計画等に力をいれるよう指示している。また、JA等関係者と連携をとり協力して進めていきたい。

**問** 関係者と連携をとり進めていく (町長)

**答** 国清産業振興課長 現在、県の「地域

### 公の施設の管理委託は

来年四月から実施予定 (戸川総務課長)

**問** 七月に生名神ノ木線が一部二車線道路になったが、今後、堤防まで全線二車線にして星谷橋を抜水橋に改築し、生名と星谷を直接つなぐ計画を立ててはどうか。周辺は飛躍的に活性化・発展すると思うが。

**答** 町長 財源的な問題や、合併問題にも関係するのですが、難しいが、前向きに考えたい。

**問** 三月に公共施設の管理者の指定手続き等に関する条例が制定されているが、九月から団体に委託する予定でなかったのか。

**答** 戸川総務課長 自治法の改正が十五年五月であり、新しい取り組みということで、全国の状況を見ながら進めて行く予定だ。十二月議会に提案し、来年四月一日からの実施に向けて努力していきたい。



生名と星谷を直接つなぐ計画を

## 国庫負担金廃止 教育格差が生じるのでは

### 教職員確保などに不安（教育長）

川端雅夫議員



**問** 教育基本法改正の中間報告で「愛国心」「生涯学習」など、現行の十一条に九項目を加えるという内容であった。この改正についての考えは。

**答** 教育長 現行の基  
本法を大切にしてい  
くと共に、国や郷土を  
愛する心と、国際社会の  
一員としての意識のかん  
養など、改正はやむを得  
ないのではないかと思う。

**問** 義務教育費の国庫負担金廃止について、全国知事会が中学校教職員分八千五百億円の税源移譲することを決めたが、県の財政状況によって教育格差が生じるのでは。

**答** 教育長 義務教育として必要な内容と水準が確保できなくなるおそれがある。また、財源不足のため教職員の確保が困難になるなどの不安がある。

**問** 小学生の数が激減している。将来の統合も視野に入れ、今から基準を定めておく必要があるのではないか。

**答** 教育長 市町村合併や少子化問題、財政等の問題もあり、どう推移していくか分からない。

### 災害時の対策は

**問** 避難勧告が発動された時、避難場所が設定されているのか。

**答** 戸川総務課長 避難場所については、現  
在、防災計画の中に盛り  
込まれているのか。



将来は小学校の統合も？

込んでいる状況である。ハザードマップは今ほどきていない。

**問** 避難した人のための救済物資は備蓄されているのか。

**答** 戸川総務課長 食料の備蓄は、クラッカー、乾パンなどで非常に少ない。今後、防災計画を見直す中で再点検をしていきたい。

### 農業認定者の支援を

**問** 国の農政改革案で、ばらまき型助成をやめ、能力、意欲のある農家に支援をしていくと言う。助成の対象として認定農業者を基本としているが、現在の数は、また、今後、行政としてどのような支援をして行くのか。

**答** 国清産業振興課長 現在、二十九人である。就業時間が年間二千時間、六十歳までなどの基準があるが、今後、認定農業者を育成していきたい。

### 軽自動車税増税の考えは

**問** 固定資産の評価基準は。

**答** 今川総務課長 家屋については、国の家屋評価基準が示されている。土地については、町内三十三方所で基準値を設け、不動産鑑定士に評価をしてもらっている。

**問** 軽自動車税は現在より二十%の増税が認められている。徳島、小松島市は実施しており、鳴門市も追従値上げをすると言うが増税の考えは。

**答** 今川総務課長 町内ではバイクも含め四千八百台の軽自動車があり、値上げした場合三百三十九万円の増収が見込まれる。実施するためには、住民や議会の理解が必要であり、十分協議する必要がある。

**問** 重要項目についてある程度理解を得る中で、早く任意協議会を立ち上げるべきではないか。いつ最終決断をするのか。

**答** 町長 病院問題一つをとっても二ユアンスの違いがあり、不安もある。住民が納得してくれるような方向をなお慎重に煮詰めていきたい。

### 市町合併 最終決断はいつ

## 本当は小松島と合併したくないのでは

重点項目が聞き入れられない場合は難しい  
(町長)

井出美智子 議員



**問** 上勝町に合併を断られ、行き着く先は小松島市しかないという状況だが、財政状況などの実情がわかるにつれ、合併への疑問が出てきているのではないか。

**答** 本当は小松島市とは合併したくないのでは。

**問** 町長 病院存続等の重点項目が聞き入れられないのであれば合併は難しい。現在、調整をしているが、合併は必要だと思っている。

**問** 合併することでもできない、単独で財政危機を乗り切る意志も持たず、自立計画も立っていない、ということになれば行政機能崩壊だ。「法期限内の合併を目指す」と明言してきた町長の言葉に今でも変わりないか。

**答** 町長 ここ四、五年、行財政改革に努め、基金も積み立ててきた。すぐに合併しなくてもやっていける自信はあるが、総合的に判断すると期限内合併は必要であり、実現に向け努力していく。

**問** 合併しても、少なくとも財政は苦しい。合併頼みではなく、自立計画を持った町づくりに必要ではないか。



特に被害が大きかったミカンハウス

## 台風被害 生産者を励ます 行政を

**問** 町長 五年や十年ぐらいの自立計画は立てられるが、長期になると難しい。国の大きな流れの中で合併は避けられない。

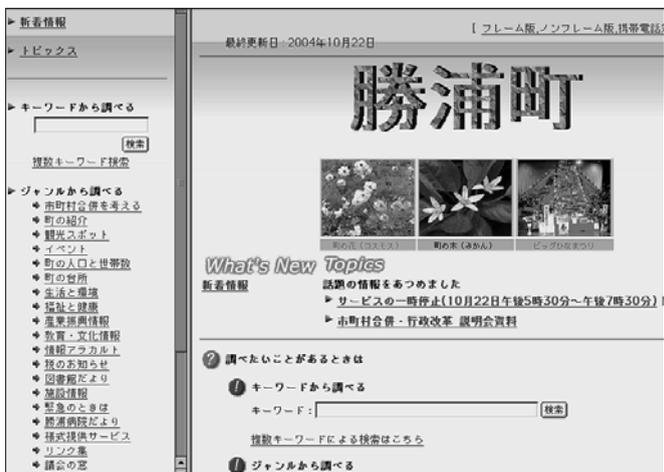
**答** 町長 五年や十年ぐらいの自立計画は立てられるが、長期になると難しい。国の大きな流れの中で合併は避けられない。

**問** 法期限内に合併が実現できなかつたとき、どう責任をとるのか。

**答** 町長 合併できるかどうかかわからないうちから、責任問題について答えられない。身を捨ててもやるといふ決意で取り組む。

**問** 特に被害が大きかつたのは、ハウスみかんなどのポリフィルム被覆施設だが、再生産を図れるよう指導、援助しては。

**答** 国清産業振興課長 高齢のため台風被害を機に、ハウスをやめる人もある。被害に対する助成制度はなく、共済で対応してもらいたい。ハウスの建て直しには補助制度を紹介したい。



ホームページの改善を

**問** 町民の気持ちに寄り添い、農業を続けていくことを励ます行政が必要だ。勝浦みかんのブランド化に向け、生産と販売体制を確立する取り組み強化をしては。

**答** 国清産業振興課長 その方向で努力している。日本一の勝浦みかんを目指して取り組んでいく。

**問** ホームページの改善を

**答** 戸川総務課長 ホームページは各課において内容の変更をしている。新たな情報があれば、その都度変えていくようにしたい。近いうちに担当者を集めて研修会を行い、意識あわせをしたい。

また、メールは各課に送れるし、届いたメールに対しての答えは出ている。

# 一般質問

## 防災無線

### 難聴地域解消はいつ

十八年四月完成予定

(総務課長)

西浜勝己議員



**問**

設置から二十三年、防災無線は難聴地域が沢山あり住民の苦情が毎日に増している。難聴地域は何力所あるのか。また、整備工事の完成時期と、予算額、負担割合は。

**答**

戸川総務課長 難聴地域は十四力所。スピーカーの欠陥三十六力所。予算は三億円以内に抑え、国・県の補助金と過疎債で対応したい。工期に於いては十八年四月完成予定だ。



聞こえにくい防災無線

**問**

事業の実施により、難聴地域はすべて解消できるのか。

**答**

戸川総務課長 デジタル波と戸別受信機を取り入れ、難聴地域解消を図りたい。

## 市町合併 法期限内に 間に合うのか

**問**

合併実現に向けて町長は「政治生命を懸けてやる」との決意だった。一月には小松島市長選挙が控えている。本間に間に合うと思うか。

**答**

町長 市長選挙があっても合併協議の場には出席して頂く。

**問**

編入合併であっても、重要項目は一步も引かない。九月議会終了後、全員協議会や合併特別委員会で協議したい。

重要項目の一つである病院経営は健全だと思ふが。

**答**

幸野病院事務局長 九月決算書で示してある通り、病院経営は安定しており、決してお荷物でなく、住民にとって必要不可欠な施設とされている。

## 台風被害による 他の事業への 影響は

**問**

たび重なる台風で、棚野立川線の道路二カ所が崩壊、立川地区はもろろんのこと、クリーンセンターへの通行止、町民生活への影響は計り知れない。完全復旧に向けての対応は。

**答**

豊岡建設課長補佐 棚野立川線は、民家やクリーンセンターがある重要路線であり、建



立川線崩壊、町民生活にも影響が

**問**

設・住民両課協調しながら応急処置は講じた。今後、災害復旧事業として取り組んでいきたい。

**答**

豊岡建設課長補佐 補助事業は予定通り進んでいる。町単独事業は遅れているが、時間

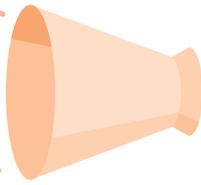
**答**

町長 一番心配な中角堤防の損壊箇所は改修対応を急ぎたい。

**答**

国清産業振興課長 今年のような異常気象も想定しながら、作物の選定や、作付時期等も含めて、関係団体・JA等と協議したい。

# 声のひろば



宮本 智子 さん(石原)  
(高知市出身)

## 我が家は野球家族!!

- Q** 故郷はどんな所ですか。  
**A** 生まれは高知市ですが、小学校一年のとき、父の仕事の関係で愛媛県伊予三島市（現在の四国中央市）に移りました。高い煙突から煙が出ている製紙工業地帯です。
- Q** 勝浦町に来て何年になりますか。  
**A** 二十九年になります。
- Q** お仕事は。  
**A** 徳島市で保育士をしています。



- Q** 家族構成は。  
**A** 主人と息子二人の四大家族ですが、土・日には男全員野球に出かけ、家にいません。（笑）
- Q** 勝浦町の印象は。  
**A** 緑の山に黄金色のみかんが色づく秋が一番きれいだと感じました。
- Q** 里帰りは。  
**A** 年二〜三回。八月のよさこい祭りの時には必ず帰っています。
- Q** 趣味は。  
**A** スポーツ観戦と手芸です。主人と息子二人の野球を見に行くことが楽しみです。
- Q** どんな町になればよいですか。  
**A** 自然を大切に、活気のある町になればいいと思います。



どうなっているんだらう今年の天気は六月から台風が列島に上陸。七月から盆までは猛暑の中の酷暑。それ以降は雨天の連続。その上に大型台風の追い打ち。十月に入ったたら天気も落ち着くと思っただら超がつく大きな二十三号が直撃。発生した台風の半数近くが上陸。この天候不順の原因は地球の温暖化に起因しているのでは。

この影響を受けているのは自然界の動物とてこの限りでない。山奥で生活していたクマが人里に現れて危害を加えるまでに成っている。原因は異常な高温でカミキリ虫が異常発生しブナ林等の原生林が枯れたことや、暴風雨で生活環境が極端に悪化したためともいわれている。これらは、地球の大気汚染が大きな要因と思われる。

自然の中で、人類は小さな存在だが、行なってきたこととはとても大きく、良きにつけ、悪しきにつけ。  
(栄)



## 編集後記